

平成 28 年度ヘルスリテラシー特別公開講座

青森県立保健大学では「健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート活動」の一環として、特別公開講座「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

認知症サポーター養成講座とは、厚生労働省が推進する認知症サポーターキャラバンの一環として、都道府県、市区町村など自治体等と協働して実施する研修であり、認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを全国で多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指します。特に青森県は、若者のサポーター数が足りないため、保健大学学生及び地域住民をサポーターとして養成することにより、青森県のヘルスリテラシーの向上に資します。

日 時:平成 28 年 10 月 29 日(土)10:30~15:30

場 所:青森県立保健大学 A 棟 1 階 A112

内 容: ①認知症サポーター養成講座 10:30~12:00

- ・認知症の基礎知識(講義)
- ・認知症を地域で支えるとは(演習・講義)

②ステップアップ講座 13:00~15:30

- ・講 話1 「認知症を地域で支えるために」

あおもり協立クリニック 医師 大畑 美齡 氏

- ・講 話2 「認知症の人を抱える家族の想い」

認知症の人と家族の会 青森県支部 代表 石戸 育子 氏

- ・話題提供 学生による啓発活動紹介

<実施結果>

講座は午前「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に関する基礎知識を学び、グループワークを行いました。グループワークでは認知症を取り巻く問題等について各グループで話し合い、発表しました。また、受講した 59 名の方に養成講座修了生の証であるオレンジリングを配付しました。午後は養成講座修了生を対象とした「ステップアップ講座」を開催し、47 名の方が受講しました。受講生は医師と家族のそれぞれの立場からの講話に聞き入り、あっという間の時間でした。最後に本学サークルの SW 研究会が認知症への啓発活動の紹介を行いました。

